資料７

令和８年２月９日
子ども子育て応援会議資料

保育の質ガイドライン　～小学校との連携～

今年度新たな取組みとして、小学校の行事（運動会・学習発表会・展覧会など）に近隣保育園・幼稚園の年長児の訪問見学を実施しました。

小学校の受入れ学校数及び訪問園数　（校・園）

	小学校	保育園	幼稚園	幼保合計
実施済	４３	１０９	９	１１８
実施予定・調整中	７	１９	５	２４
中　止※	５	１３	２	１５
合　計	５５	１４１	１６	１５７

※感染症の蔓延状況により中止となりました。

【小学校からの声】
・児童は、園児に見られることで、普段以上に張り切っていました。
・卒園した園の先生に会え、成長した姿を見せられ嬉しそうにしていました。

【幼稚園・保育園からの声】
・校庭や体育館の大きさ、児童の走るスピードや歌声の迫力に驚いていました。
・園に戻ってから、見たことのごっこ遊びや作品作りに影響を受けていました。
・学校に不安を抱いていた園児が、訪問見学後は楽しいと言うようになりました。

【今後の方針】
・幼保小の連携や交流をさらに深め、特に年長から 1 年生にかけての架け橋期の発達や学びを共有し援助する。
・4 月以降も園児の学校訪問見学を継続し、入学する楽しみやワクワクした気持ちの醸成に繋げる。

８．連携　【江戸川区保育の質ガイドラインから抜粋】

小学校との連携

＊子ども、保護者が就学に向けて安心できるよう、日々の交流や情報を伝え、見通しと期待をもって就学できるよう連携していきます。
＊架け橋期の子どもの発達や学びの連続性を継続的に援助できるように、子どもの小学校体験や交流の機会をもつこと、また保育者間も、研修などの学びの機会や交流をしていくことを目指します。
＊保育施設等から小学校へ指導要録・保育要録等の送付を行います。意見交換などを通して子どもの情報を共有し連携します。卒園後も支え合える体制を整えていくことが大切です。